



奈川の人口	
平成 28 年 5 月 1 日現在	
総世帯数	345世帯
総人口	755人
男	360人
女	395人
発行 奈川公民館	
発行者 勝山裕康	
編集者 公民館編集委員会	
印刷 (株)プラルト	

人権視察研修 in 上田



上田城 東虎口櫓門にて

奈川地区、安曇地区の人権啓発推進委員会との共催で両地区の住民参加による「人権視察研修 in 上田」が3月7日に行われました。

今回は、上田市の第二次世界大戦の戦争遺構と上田城址公園内の真田家を主とした上田の歴史を研修しました。戦争の遺構は資料により学び、飛行場跡や地下工場など直接戦争に結び付く遺構があるなかで、松脂から航空機燃料を精製しようとした松の木が戦争遺構として残されていることに驚きました。

真田家の歴史では、兄信幸は徳川家康へ、弟幸村は上杉景勝へそれぞれ人質として出されるなど、この時代にはたとえ大名の子息であろうとも人権を無視した扱いをされていたことを知りました。

短い時間でしたが、先人の多くの努力により得られた現在の基本的人権と、現代社会に新たに生まれた様々な人権問題を改めて認識した視察研修でした。



中学校入学式

ピカピカ! 緊張の1年生

御入学
おめでとうございます

4月5日、奈川小中学校の入学式が行われました。

最初に中学校の入学式が行われ、制服姿もよく似合う、生徒5名の入場となりました。

新入生代表のあいさつでは「勉強、部活をがんばりたい。」と、頼もしい言葉を聞くことができました。

小学校では、初々しい3名の児童が仲間入り。ちよつぴり緊張した表情とはうらはらに、「ドキドキドン! 1年生」の歌を元氣よく歌って、可愛らしさも満点。

夢と希望で胸いっぱいの新入生のみなさん、おめでとうございます。これからの学校生活を思いきり楽しんでください。



小学校入学式

卒業生を励ます会



新生活に向かう 3 名の卒業生

3月11日、奈川中学校で卒業生を励ます会が行われ、3名の対象者に社会福祉協議会から記念品が贈られました。また、福祉ひろば手作り教室から地域の方が作ったコサージュが渡され、子どもたちの胸を飾りました。高校では勉強を頑張りたいと話す子どもたち。奈川で過ごした時間が、これからも心を支えてくれるでしょう。卒業おめでとう。

4月4日、奈川保育園にて進級式が行われました。今年度は新入園児がいなかったため、在園児による進級を祝う式となりましたが、来賓の方や先生の話聞く姿勢は、一つ大きくなったことを感じさせる、落ち着きに満ちた堂々としたものでした。
年長の子どもたちからは「なわとびを頑張りたい。」や「けん玉を頑張りたい。」など、この一年の目標が聞かれました。
12名という少人数ではありますが、皆さんの経験と思い出に満ちた一年になるのではないのでしょうか。
進級おめでとうございます。

祝 奈川保育園進級式



元気いっぱいの園児

平成28年度 奈川地区町内公民館役員会

役名	氏名	公民館名
会長	南 喜八郎	みより
副会長	大矢 政喜	黒川渡・湯の原
会計	奥原 三吉	追 金
監事	小林 昭彦	三 和



ささゆりひろば

平成28年度 奈川公民館行事予定 (主なもの)

期日	行事名	場所
9月10日(土)	第13回秋の大運動会	奈川小中学校グラウンド
10月2日(日)	第58回町内公民館対抗ソフトボール大会	木曽路原グラウンド
10月29日(土)~30日(日)	第57回文化祭	文化センター夢の森
12月中旬	クリスマスコンサート	文化センター夢の森

4月22日、福祉ひろばにて西山知花先生によるささゆりひろば健康教室が開催されました。15名ほどが参加して、冬の間固まりがちだった体をほぐしました。
膝痛で車の乗り降りも大変だったという方が、ストレッチの効果により痛みが軽減されるといって驚きの効果も見られ、体をほぐす重要性をあらためて実感することができました。

野麦路



先日、「撮ったんだよ。」と息子が撮りたてのプリクラを見せてくれた。友達数人と、実に楽しそうに写ってはいったものの、全員が実物とはずいぶん違う出来に、プリクラが証明写真には使えないのは当たり前だなと、まざまざと感じてしまった。時代の流れの最先端なのはわかるけれど、私も息子もこれには「偽造だよね。」と苦笑いしながら声を合わせてしまったほどの変身画像だった。
しかし、その最先端を上回るプリクラ写真が、つい最近引き出しの中から出てきた。まだ幼い息子とわたしが写っている。たぶん10年ほど前のプリクラであろうそれは、当時の加工技術を目一杯つめこんではいたものの何かがおかしい。デカ目でも美白でもない当時の「そのまま」の私がおかしかった。髪型も服装も平成なのにまるで昭和。今と全く違うそのなりに、息子と二人で大爆笑してしまった。当時の私にとってはアレが最先端。そう思うと、時代は流れたなど笑わずにはいられなかった。